

[シラス]

1. 県内の平成 27 年 7～8 月期の漁況の経過

バッチ網漁業の漁獲量は、西薩海域では平成 11 年の 5,450 トンをピークに減少傾向を示し、平成 14, 15 年と 1,000 トンを下回り低調に推移しました。その後平成 16 年は 3,507 トンと比較的好調に推移しましたが、平成 17 年以降減少傾向を示し、平成 26 年は平成 11 年以降では最低の 794 トンとなりました。

志布志湾海域では平成 14 年は 396 トンで特異的な不漁、平成 19 年は 2,374 トンで特異的な好漁の年もありますが、平成 11 年以降 700～1400 トンの間で推移してます。平成 26 年は 1,247 トンとなりました。

今期の西薩海域の漁況は、カタクチシラス主体に 47 トンの水揚げ（前年同期の水揚げなし）で、平年の 72% でした。

志布志湾海域の漁況は、カタクチシラス主体に 156 トンの水揚げで、前年の 150%、平年の 117% でした。

2. 県内の平成 27 年 10～12 月期の見とおし

漁獲の主体は、カタクチシラスでしょう。来遊量は、西薩海域は前年を上回り、平年並、志布志湾海域は前年並で、平年を上回るでしょう。

（根拠）

西薩海域では、夏季降水量と秋漁との関係、及び春漁と 10～12 月期の漁獲量との関係から、前年を上回り、平年並の来遊であると予測しました。

志布志湾海域では、夏季降水量と秋漁との関係から、前年並で、平年を上回る来遊であると予測しました。

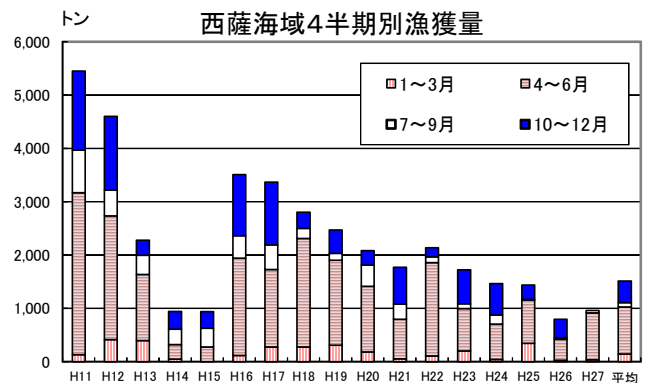
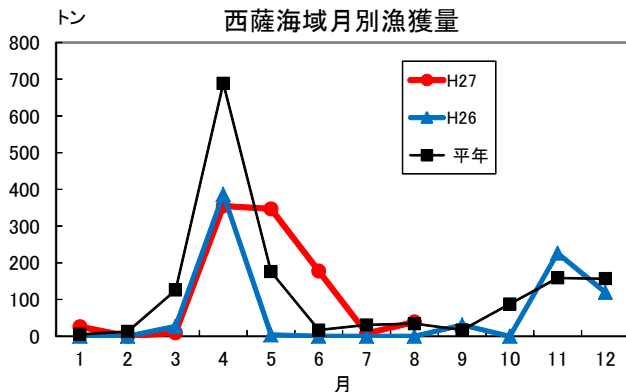
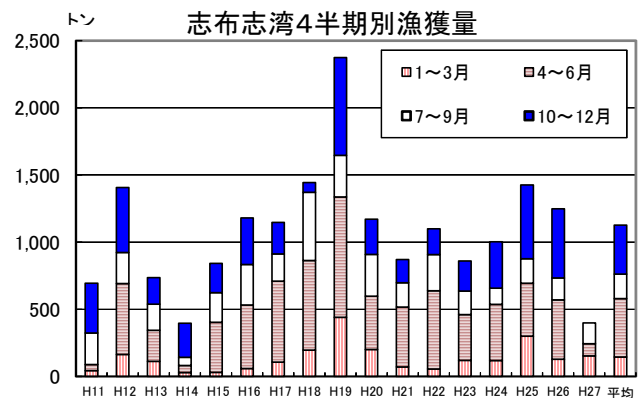
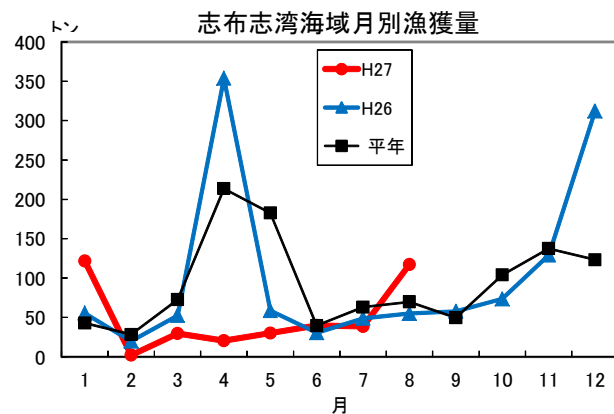


図 西薩海域バッチ網漁業の漁獲量変化(4漁協計)



志布志湾海域バッチ網漁業の漁獲量変化(2漁協計)

※平年値は過去 5 年（平成 22～26 年）の平均値(AV)、平成 27 年 8 月 31 日までの水揚げ量を使用